



北アフリカ地域ニュース

エジプト：モヘッディーン投資相による企業の社会的責任に関するスピーチ (12月11日付投資省プレスリリース)

12月11日にカイロで行われた在エジプト米国商工会議所及び国連開発計画主催の会合において、エジプトにおける企業の社会的責任に関してモヘッディーン投資相がスピーチした。

1. 民間部門は、経済の中で主要な役割を果たしており、民間部門による役割は、生産（活動）に加えて、コミュニティ開発のような他の分野にまで及ぶ必要がある。企業は、どの国においても権利と義務を有している。企業は、法律で定められた枠組み及び税制上の優遇措置を含む適切なビジネス環境を有する資格が与えられている。
2. 企業の責任は、コミュニティとの直接的な関わりを含む慈善事業にとどまらず、企業の役割を更に高めなければならない。企業の社会的責任に対する統一された定義はないが、企業の社会的責任とは、コミュニティの着実な成長及び発展を達成しながら、企業が活動を行うコミュニティに対して彼らの役割を果たすためのコミットメントであると言えるかもしれない。
3. エジプト政府は、企業が社会的責任を引き受けられるようにするような投資環境を構築するための幾つかの措置を採ってきた。エジプトは、包括的な税制改革及び外国直接投資を誘致するための措置を採った結果、外国直接投資額は111億米ドルに達した。エジプトは、アフリカ諸国の中で1番目に、アラブ諸国の中で2番目に多い外国直接投資を受け入れている国である。またエジプトは、アラブ及びアフリカ諸国の中で最初にOECDの投資委員会に加盟した国である。
4. 社会的責任を実施している企業は、資金調達、企業の名声向上、顧客の忠誠心等数多くの利益を得ている。エジプトで活動を行う多くの企業及び機関は、この役割を果たし、教育、保健、環境等において貢献を行っている。
5. (同会合では、ビジネス社会における社会的責任を果たす活動に関して調査を行った「Human Development Solutions for Public Sector」報告書が発表されたが)モヘッディーン投資相は、同報告書の作成は、ビジネス社会が正しい方向へ進んでいるという足跡であると述べ、ビジネス機関がどのようにミレニアム開発目標を支援するのかについて調査結果を共有し、各機関がこれらの目標の実施において役割を果たす責任を持つことを期待している。